発行所
中里村公民館

現在人口

男	4.670
女	4.683
計	9.358
世帯数	1.668

年頭の挨拶

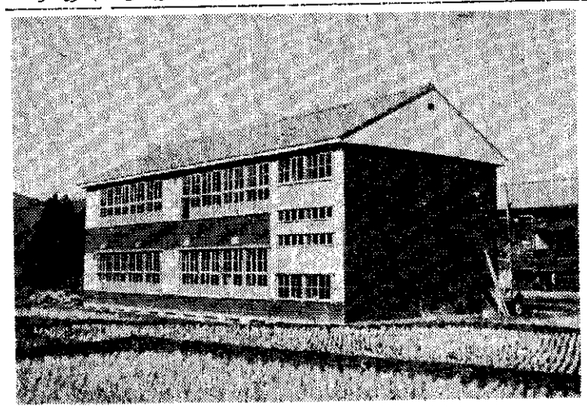
村長 高橋 幸作

一九六二年の新春を迎えるにあたり、心からお慶び申上げます。

顧りみるに一九六一年は、世界的にも国家的にも幾多の記録的なことがら勃発いたし、世の中の様相が走馬燈のように遷り変ってゆく姿をまのあたりに感じさせられた年のようでした。その中には全く進歩的、且つ発展的なもの、または実に驚嘆を感じさせる不祥事、さらに冷戦を想わせる危機感等々でありましたが、新年こそは出来るだけ不祥事等のない慶事の多い和平的なそして進歩的な年でありますよう念願するものであります。

不肖私は第二期目の村政担当者として、既報のような数多の難題や難事業と取り組み、これが処理についてはあたかも寅歳に因んでもう進する覚悟であります。

年頭にあたり、一新機軸当村の発展のために一段と拍車をかけたい所存で御座居ますので何卒村民の皆さんより一層の御協力を賜んでやみません。尚、各位にはあくまでも健康で明るい社会生活の出来得ますよう祈念いたします。



— 田沢中校舎四教室増築完成 —

年頭所感

今年こそ躍進の年

村議会議長 齋喜 政治

明けましておめでとうございます。皆様お元気で御年越のことと心からお喜び申上げます。

幾才になってもお屠蘇気分の正月は良いもので御座居ます。私も多少彼地方、此地方のお正月も体験いたしましたが、なんといってもやはり生まれ故郷の雪国のお正月がいちばん実感が湧く様でございます。こう申上げると県外に御活躍の皆様方にはなにかと思いおこすこともあろうかと存じます。然し人間はそれぞれの目的によって、或いはそれぞれの立場によっていつまでも故郷の名残りにのみ愛着すべきではないでしょう。

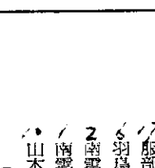
男児立志出郷関
学若不成死不還
埋骨何期墳墓地
人間到処有青山

と僧の月性の古詩の如く大いに天下に雄飛して人生に希望を持ち世界万民相和し相携えて平和な明るい社会を造る明日への希望に燃えながら共存共栄の実を挙げ老も若きも互譲の徳を積みながら楽しい人生を送りたいものです。

さて中里村も合併発足以来、日尚浅い浅いと申しておりますうちに七回目のお正月を迎えた訳でございます。旧田沢と倉俣そして貝野南部の方々と日来多少與った条件下にありながらも良く協力一致新興中里村発展のため共々努力を続けてまいった次第です。お陰様をもちまして年々計画された設備事業や、内部的機構の整備も着々其の成果をあげております事は御同慶に堪えません。過ぐる昭和三十六年度は近来稀な大雪に悩まされ更に九月の第二室戸台風を始め数次に亘る集中豪雨のため各所をおそった大洪水は随所に惨憺たる被害の跡を残すなど全く相次ぐ自然の脅威に悩まされましたが、我が中里村では一部家屋の罹災者を除いては比較的被害も僅少にとどまり、一般農作物もますますの成績をおさめ得ました事は喜びの至りでございます。

翻って昭和三十七年度は我が中里村が一大躍進をいたさねばならん重要な年だと思います。即ち町村合併も全く終末に近づいてまいりました。待望の十二線も漸く着工の運びとなりました。その他内部的にも産業教育部門を始め各般に亘って幾多の大きい事業が計画されてございます。これ等の計画実施に当りましては村当局の絶大なる御協力は勿論、全村民一致の御協力がなければ容易に実現出来るものではございません。過去に於ける未解決の問題点に進んで発展的の諸事業遂行のため、我々一万の中里村民は小を捨て一致団結和衷協力の実を挙げ、以って初期の目的達成のため大いに努力をいたさねばならんことを今更ながら痛切に感ずる次第でございます。

何卒全村民各位が益々御健勝にして明るい村を造りあげ、より御多幸ならんことを心からお祈り申上げ私の所感と併せて年頭の御挨拶と致します。



中里村議会

議長	齋喜 政治
副議長	上村 醫造
議員	藤ノ木 利一
	鈴木 寛一
	上原 国一
	鈴木 新作
	鈴木 佐平
	井ノ川佐平治
	服部 正義
	渡辺 賢利
	藤田 宇一
	服部 武男
	村山 宗一郎
	鈴木 重義
	窪井 宗五郎
	村山 重行
	樋口 正平
	服部 政平
	羽鳥 与五郎
	南雲 吉之助
	南雲 武雄
	山本 良蔵

(議席順)

中里村選挙管理委員会

委員長	高橋 良平
委員	山田 朝平
委員	鈴木 三巳酉
	徳井 善七

教育委員会

委員長	藤田 五郎
委員	鈴木 謙吉
	樋口 与三郎
教育長	村山 軍英

新年の御挨拶

教育長 村山 軍英

明けましてお祝出度うございます。昨年は年頭より豪雪に続いて各地の大小、集中豪雨、台風と次ぎ次ぎと県下に多大なる損害を与えましたが、幸いに我が中里村には大した被害もなくめで度越年出来ましたことは、村民の皆様と共に喜びにたえない次第でございます。

さて、教育行政につきましては村当局並びに村議会御指導のもと村民各位の深い御理解と御支援とによりまして施設設備の面に於いても、また教育内容の面に於いても逐次整備充実の度を加えつゝあるは誠に感謝に堪えない次第であります。

御承知の如く義務教育は、義務教育国庫負担法にうたわれているように、そのすべてを国または村が負担するよう義務づけられてはおりますが、法による完全教育課程の実施に要する校舎の整備についても教育内容についても現段階に関する限り、国の財政的裏付も完全でなく、村の財源にも又限度がありますので、その内容充実のためには多分に各学区を通じPTAの御協力に俟っている実情にございます。尚、御参考までに新年度以降必ず実現しなければならない主な事業を申上げれば、田沢中学校屋体の建設を初め、倉俣中学校寄宿舎の新築、田沢中学校寄宿舎の増工事、学級増しによる清津峡小学校の増築工事、管内に残された小、中学校の完全給食の施設、本年度から実施の段階にはいった中学校の技術家庭科の実施に伴う特別教室の整備、倉俣小、中校長住宅、別に貝野小、中学校にあって同様の施設が望まれる訳であって、これを一つ一つ完全に遂行していくためには村当局の大英断と村民各位のたゆみない御協力に俟たなければならないと思います。

社会教育関係については激動する社会情勢と共にますますこれが重要性が痛感され、青少年教育はもとより婦人成人各層から自発的な教育活動参加を期待し、そのため必要な諸条件を整えて推進に努めたいとおもっております。社会教育はつまり人間づくりに他ならないのであります。

公民館社会教育諸事業を通じてこの高邁なる目標に到達すべく、まず活動組織の充実、各種学級並びに講座、社会団体活動の振興に重点をおいていきたいと思っております。

正月の夢

佐藤牧堂

いくつになっても正月は楽しい。朝は雑煮。夜は酒肴。みんな好きだ。親友の来訪に事よせて昼間飲んでも公明正大のようで、何となく申し訳無くない。一休和尚は正月を冥途への一里塚と言って余り自出たがらず、鴨長明は厭世思想で、「ゆく川の水のように人の命も去って帰らぬ」と正月からくよくよ始めたものだが、近代人はこんな感覚ではいけない。矢張り今年は何かよいことがあるだろうと期待したり、今年こそ此の仕事をやりぬこうと決心したりする方がよいと思う。親のすねかじりの子供らが、ピチピチと心をはずませているのに、独立自尊のおとなは酒の元気で天馬空を行くような大計画をたてながら餅のように粘り強く進むのでなければ正月の意味がうすれる。

昔、故大倉正平先生と一夜飲んだ時、「若い頃は一年に三万ページ読まねばならぬ。一と教えられて、五年ばかりやってみたが、あの頃の勉強が今でも役立つ。しかし、もう「読まねばならぬ」年頃でもなくなった。今年は余暇を充分に生かして好きな本を無理なく読もうと思う。家も持たないのに盆栽の横好きで雑木を並べて愛育しているが根本になる植物学の知識が無いから、この辺で焦点を絞ってみようと思う。伊能忠敬の地理学は五十四才から始めたのだから、私だって、今からでも遅くない。牧野富太郎先生の植物学は独学であれだけの権威を成した。私のは常識的植物学であり、盆栽用植物学の程度で満足だ。

この美しい中里の山野を、草木の生命の神秘に多少の知識を持ちつゝ歩いたら正月の夢は私の人生に破天荒の開眼になることと思うのである。

謹賀新年

中里村役場

▽総務係
村長 高橋 幸作
助役 滝沢 謙治
収入役 広田富左衛門
書記 斎井 喜重
書記 志田 義三郎
高橋 稔
江口 徳一
滝沢 貞一
南雲 紀子

▽税務係（税務）
南雲 孝敏
樋口 ヨリ
羽鳥 直嗣
（地籍）高橋 正巳
（村税賦課、徴収、納税組合、固定資産評価審査委員会、産業育成資金、その他税に関する事務、土地台帳、家屋台帳、同名簿帳、その他土地に関する事務）
鈴木 敏雄
上原 千代乃
井ノ川 かつ
（現金出納、物品出納、決算その他会計事務）
井ノ川 友一
井ノ川 博
鈴木 善雄
井ノ川洋一郎

▽会計係
山田 正平
（文書、住民相談、人事、条例、財務、議会、選挙、タイプ、ジープ、消防、その他庶務）

▽厚生係
（生活保護、民生委員会、民生団体、国民年金、保育所、職業、復員、引揚、未帰還者その他福祉事務）
小柳 定夫
樋口 信治
大島 厳
江口 ツヤ
樋口 もと
村山 しづな
樋口 ミサオ
羽鳥 ヨリキ
樋口 順子
（診療所）肥後 安宏
山崎 一夫
吉梁 フサ
樋口 文子
（国民健康保健給付及び税賦課、保健指導、伝染病、予防接種、結核予防、環境衛生、栄養指導、その他保健衛生事務）

▽保健衛生係
柳 栄久
鈴木 寛巳
井ノ川 進一
（農地利用関係、自作農創設維持、農地交換、国土地籍調査、その他農業委員会関係事務）

▽土木係
鈴木 与八
斉喜 正孝
（道路、橋梁、河川、建築、水道工事、観光その他土木関係事務）

▽教育委員会
上原 隆平
鈴木 カツミ
樋口 和一
（学校等教育機関設置管理廃止統合、教育財産管理、育英事業、学校教職員任免異動事務、学令児童生徒就入学転学調査統計、社会教育公民館、その他教育委員会関係事務）

▽貝野支所
阿部 安栄
村山 憲吾
南雲 千代子
（戸籍住民登録、印鑑、埋火葬認可、学校組合、出納事務の一部）

▽倉俣支所
鈴木 勝
（戸籍、住民登録、印鑑、埋火葬認可）

▽産業経済係
高橋 文平
樋口 定敏
井ノ川 福一
（農畜産業振興指導、農業土木、商工業振興奨励、林務、度量衡、地代家賃、その他産業経済事務）

▽戸籍、住民登録係
滝沢 正巳
柳 秀子
（戸籍、印鑑、埋火葬認可、住民登録、人口動態、主要食糧割当配給、その他戸籍住民登録関係事務）

▽農業委員会
服部 雄雄

▽電話交換
渡辺 ハマ
斉藤 幸治

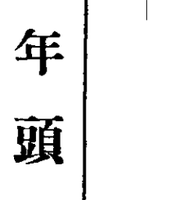
▽役場庁務員
阿部 信太郎

公民館

館長	大島 孝平
外役職員一同	

年頭所感

教育委員長　藤田五郎



昭和三十七年の新春を迎えるに方り謹んで年頭の御挨拶を申上げます。

さて、不肖私も新教育委員会法の許に満四ヵ年間教育委員長として御奉公して参りました。御承知の通り昭和三十一年六月二日世紀の新教育委員会法が可決され、同年十月一日からこの新法によって教育行政が行なわれて来たのでありますが、発足に方り色々懸念された点も逐次理解運営され、現在では漸く軌道に乗り特に重大問題として注目された勧務評定や、学力テストも我が中里村に於ては平静の内にしかも県の内容に実施されましたことは、とりも直さず教職員各位の良識と村民各位の御支援の賜と感謝に堪えず全く感慨無量であります。今後共従来以上の御協力と御鞭撻をお願いする次第であります。

一方村当局並びに村議会に於かれても教育面には最も重点を指向され、教育優先主義の方針を着々と実行に移され、私が委員長に就任以来既に貝野小学校の屋体、倉俣中学校の屋体、田沢中学校の寄宿舎、並びに普通教室四教室の建築、清津峡小学校の誕生、田沢中学校の統合、スクールバス購入等重要施策を着着と計画実施された熱意と先見の明に対し、深甚なる敬意と感謝の念を捧げるものであります。本年度に於いても重大課題として田沢中学校屋体及び倉俣中学校寄宿舎の建築、田沢中学校寄宿舎の増築等が立案される現状にあります。勿論これ等は何れも教育の機会均等と学力体位の向上に資する必要欠くべからざる施策でありますので村当局並びに各村民各位の熟ゆるが如き熟慮によりこれが実現を念願し御期待申上ぐるところであります。組合立中学校につきましては、町村合併が未解決でありますため、その運営も頗る不規則で遺憾に堪えませんが、水沢村の良識と両村の和合を期待し正常なる運営の出来る日を待ちわびると共に貝野地区の村民各位と貝野小中学の教職員各位に対して今暫らくの御辛抱をお願い申上げる次第であります。

尚、教育委員会は特殊御承知の通り議決機関であり且執行機関でもある特殊性の機関でありますのでその行政運営も誠に複雑多岐であります。特に青少年教育、婦人教育及び公民館の事業その他社会教育に関する問題につきましても広く村民各層の御理解と御協力をお願いせねばなりません。要するに社会教育の目的は高遠な理想に一歩一歩近づくことを目標としているものでありますが、さりとてこのことを余りむづかしく考えずやさしく考えればこれ等の事業も存続して逐次実績が上がるのではないかと考えます。

吉兆に蛙が飛び込む水の音は芸術であるし、林檎の実が木から落ちるのは科学であります。それが見えないのは言う言がないからだとおもいます。高遠な理想も計画も三近に求めようとすれば必ず求めることができるのではないかと思います。人類の繁栄、平和な世界、美しい社会国家の建設も我々の一人一人の心の持ち方一つにあると思います。道は近きにありの心境で一歩一歩高遠な理想に近づこうではありませんか。以上年頭に方り聊か所懐の一端を申述べ皆様の幸福と御繁栄をお祈り申上げます。

新年随想

公民館長民生総務　大島孝平

新しき年、昭和三十七年は三十六年の延長ではありますが来る年も来る年も同じことを繰返す年ではない。変らない松の緑に新しく飛躍する希望の光が付き加えてこそ、ほんとうに御芽出度い年と云い得るのであります。どうぞ本年も各位皆様の上に幸福の来ります様に御祈り申上げます。

昨年は貧乏一掃と社会福祉の均霑を目標に民生委員十八名と職員四名とが懸命の努力を続けているに関わらず所得倍増は巷々貧富の差を高めつつ玆に昭和三十七年の新しい年を迎えるに当り、さらにその達成に一層の決意と覚悟を持たざるを得ないのであります。さりながら、三十六年挙に行なわれた中里村首長選挙は社会教育的に一大飛躍であった。当事者は勿論、第三者は後に残されたしこりを恐れたのでありますが、然るにもかかわらず、恰かも颱風一過淡として昨日の敵は今日の味方然としてお互いにその立場を尊重し合うことは、政治形訓練の結果とは云い、大中里村民の標度を示すものとして御同慶に堪えない次第であります。

つい先頃、西ドイツ滞在三ヵ月の視察を終って帰って来られた新生活運動協会の安積先生は、

「私は西独ドイツ滞在三ヵ月の各地各所での生活を通して、西ドイツにおける人と人との触れ合いの柔らかさを感じたことを告白せざるを得ない。"ありがとう"、"どうぞ"、"ごめんください"。この三つの言葉がドイツ人の毎日の生活の中で朝起きて夜眠るまでなんとおびただしい回数において使用されているかにあきれてしまった。」といって居られた。なお先生は言葉をつづけて、先月帰国して在独十二年の経験を持つ一人の先輩（実業家）に会ったら、「自分は十二年の滞独中にドイツ人がなぐりあいをしている場面を一度も見たことがない」と語った。戦争に依て母国を二分割され悲惨の限りを尽したドイツ国民に、この柔かさとこの礼儀のあることを視て、日本人のわれわれも三省しなければならないと語られたことを新生活通信より見て感久うしたわけであります。

以上新春にあたり雑感を申しあげ本年も各位の御協力を御願い申し上げる次第であります。

謹賀新年

柳菊治

農業委員会
会長　高橋幸作
副会長　高橋熊蔵
　　羽鳥隆吉
外委員　一同

農業協同組合
中里組合長　広田要吉
専務　上原国一
外理事職員一同
倉俣組合長　高橋熊蔵
専務　藤ノ木利一
外理事職員一同
貝野組合長　羽鳥隆吉
外理事職員一同
田沢開拓組合長　小林新吾
外理事職員一同

学校長及び各種団体長
田沢中学校長　佐藤伝郎
倉俣中学校長　高橋英男
貝野中学校長　徳永泰三
田沢小学校長　木ノ下正一
倉俣小学校長　佐藤剛
高道山小学校長　田中富士松
清津峡小学校長　木村浄
貝野小学校長　石沢藤平
十日町高校田沢分校主任　関口義平
民生総務　大島孝平
消防団長　鈴木国一郎
田沢駐在所　和田正平
倉俣駐在所　佐藤清作
貝野駐在所　中沢敬作
田沢郵便局長　清滝勝蔵
倉俣郵便局長　高橋叡
貝野郵便局長　阿部操
営林署田沢担当　星清司
営林署倉俣担当　[illegible]
農林省食糧事務所出張所長　[illegible]
中里村観光協会長　高橋幸作
遺族会長　大島孝平
傷痍軍人会長　上原国一
身体障害者福祉協会長　服部武男
猟友会長　村山律治
衛生自治会長　中島迪淀
中里村商工会長　井ノ川久満治
中里村職工組合長　[illegible]
桔梗原土地改良区理事長　広田要吉
倉俣南部土地改良区理事長　高橋幸作
倉俣南部土地改良区理事長　山田久男
堀之内下島土地改良区理事長　[illegible]
東木組合長　村山重行
連合青年会長　高橋信雄
連合婦人会長　高橋敏子
PTA連合会長　上村賢造
地区婦人会長　一同
各小学校PTA会長　一同
各中学校PTA会長　一同
緑会々長　小林ヨリ

夢を現実に

中部地区農業改良普及所

これがまあついの栖か雪五尺　一茶

雪に降りこめられて嘆声をもらしておっただけでは生活はよくならない。「雨にも負けず」という宮沢賢治の詩があるが、雪にも負けず、冬の寒さにも負けないで、新しい農業を築かなければならない。

新しい農業って、どんなものか、未婚の青年にとっては素晴しい嫁の来手があって選択に一苦労する。そんな農業でなくてはならない。こんな農業はきっとこれまた素晴しいであろう。素晴しい嫁が行きたくてしようがない農業や、農村青年とはどうゆうものか。先づ一番重要なことは相手の青年だ。美貌で、健康で、教養が高くて、金があって……そして農業近代化のために茨の道を勇敢に切開いていく信念と実行力のある青年ということになるであろう。

農業はどうゆうものを望んでいるか、先づちんと儲からなくてはならない。そして、くそなんぎをこかないこと。昔のように朝に星をいただいて出て夕べに月をあおいで帰る、そして粗衣、粗食、勤倹節約なんてことになったら、鼻もひっかけないであろう。農作業はすべて機械化、家庭は電化、レジャーを楽でむは勿論、人間関係はすべし対等、あとは推して知るべしといったところだろう。まあ結局他の職業や、都会の人達が羨むような農業であればいいんだ。

と、私は思う。世の若き女性達よそうではありませんか。さてと、そうゆうことになると、立派な女性と結婚したいとは語うまでもないんだから、望まれるような農業を打立ることだ、今年こそは皆んなで力を合せて夢を現実に引戻しましょう。その斗いに生甲斐を感ずる者、これこそ新時代の花婿第一号となるであろう。（巨愚）

ハツラツと活かすチャンス

お互いが住んでいる、この世界は、どうやら空間と時間かネ今使れてる物理から云っても、中々問題だネ……つまり空間と云えば芝居の舞台のようなもの……空間の中にある種々様々なものが動いたり或は形も変る。これには、時間という何か或ものが流れていて、これに従って芝居が演じられている。一口に云えば僕達の住んでいる世界も空間と時間とから成り立っていて、この中に種々の配列があり又様々な変化が起りこの年も進むかな……これから冬眠だって誰ネ仰言る方は……とんでもない。ジックリ計画を立てる企劃の季節に入ったと思うのに、今迄のマイナスをプラスにしてみたいネ。正月はショバナの着想やアイデアは、できるだけ、でかいほうが、面白い考えも出るんじゃない、これをコタツの中で、早春までに、抜いたり、差したりして経営計画の総仕上げをしたいネ……。三十七年の中にアイデアの泉もチャンスの獲物も成功の鍵も、すべてが、かくされているようで胸が、ワクワクするネノ農業も（商い）鉋きちゃいけない。がっちり皆さん、やりましょうや。（村上）

我らは成功よりかえって失敗に多くの知恵を学ぶ

近代化への訴え

昨年は農家にとって豪雪、梨中農園、台風と相次ぐ災害に悩まされ、全く不運の連続だった。新春を迎えるにあたり、この一年を振りかえると共に、新それにつけても気になるのは近頃の農業のうごきである。その変り目の激しさは、かつてないほどといわれる。農村青少年の他産業への流出による人手不足、大資本家の農業への進出農業団体がこぞって反対する問題の河野構想、さては農業基本法成立にともなう農家をゆさぶる政策等。これら農家をゆさぶるテンポが余りにも急速すぎる。

どうした曲り角に立って、いったい我々はどう曲って、農業経営と、どうとりくんだらよいか。別にこれといった妙薬がある訳がない。農業発展をはゞむ多数の壁の一つ一つを皆んなの力で押しのけて行く以外に道はない。

この一年、村をまわって農家がいっも口に出すことは、「これからいったい何をつくったら儲かるか」である。正直のところ自信をもって答えられない。さらに農家は訴える。「農業構造の改善、経営の近代化は望ましいが資金がない」と、悩みは深刻だ。また農産物価格の不安定にも近代化をはゞむ大きな壁があるようだ。

今年こそ一致団結して農産物を有利に販売できる体制にしたい。これが、農業経営を近代化させる一つのカンドコロである。（広野）

一度も誤りをおかさない人は　一度も行動をおこさない人であろう。（リンカーン）

ねむれる畜産

成長部門の筆頭として急激にふくれ上ったものが最近の畜産だが、この地区に於ては他の地区にみられるような自覚ましいものは少ない。所得増大のための多頭飼育、共同飼育など……勿論、無計画にオイソレと先走りはいけない、先走りしてツブレ去ったものもよくある例だ。しかし手放しでアンカンとしてみているだけでは農業の近代化ははかれない、今までのような副業的畜産でなく、経営内全所得の四〇～五〇％以上の畜産所得をめざして進んでゆこうか、勿論全農家とはいかない。労力、経営規模、経営様式など考え合せて……。

次に各家畜毎に今後の最少限の目標を希望としてとげてみたい。

和牛　地区でも水沢村馬場、南部畜産組合中心に、又中里村同寺部落など新しい動きが始まっている。山間地には今後和牛などが一番好適であろうと思う。一戸当り現在の畜舎で年間、肥育で四、五頭以上の出荷、繁殖中心で一時その親牛を肥育とするような場合、繁殖牛二頭以上勿論畜舎を改造、改善により、これ以上の飼育も望ましいが。

豚　今後繁殖豚を自家に一、二頭飼育、肉豚年間三〇～五〇頭位は今年の目標としたい。

鶏　一〇〇羽程度は今年の目標以上今年の最少限の目標で、この中のいづれかの家畜を選んですゝめることだ。近代化への第一歩として……。（樋口）

謹賀新年

中魚中部地区農業改良普及事業協議会
会長　高橋幸作
副会長　古沢茂樹

中魚中部地区農業改良普及所
所長　目黒亮助
技師　村山甲子三
技師　樋口虎治郎
技師　広野正幸
書記　八重沢セツ子

開拓営農指導員中魚駐在所
技師　稲波知夫
技師　高橋直一